

Webサイトの概要とおもな機能

トップページ



PCサイト

グローバルメニューは、PCサイトでは横並びに表示し、スマートフォンサイトではタップして展開するトグルメニューで表示します。

固定ページで管理する「メニュー」ページ内にアンカーを設定し、それぞれのスクロール位置にリンクを設定します。

グローバルは、Media Queriesによってスマートフォンで表示されると、トグルメニューで表示します。

横並びの「メニュー」コンテンツは、タップしやすい形状、配置、テキストのサイズに変更し、スマートフォンユーザーの使いやすさを考えて表示します。

投稿機能を利用して、「BLOG」カテゴリに属する投稿の4件を表示させます。4件のうち、いちばん新しい投稿に対してはNEWマークが表示されます(STEP 05-10参照)。

投稿機能を利用して、「NEWS」カテゴリに属する投稿の5件を表示させます(STEP05-10参照)。



スマートフォンサイト

NEWS (投稿アーカイブ・個別投稿ページ)



グローバルメニューの「NEWS」をクリックすると、NEWSアーカイブへ遷移します。

個別投稿ページ、アーカイブページではサイドバーが表示され、ウィジェット機能を利用して管理しています。いちばん上には投稿機能を使用して投稿された最新の5件を表示させ、その下には画像バナーを3つ表示させます。

投稿一覧です。



スマートフォンサイト



PCサイト

個別投稿ページです。

メニュー (固定ページ)

トップページ以外では、メインビジュアルの高さを変更し、ページのタイトルを表示します。



PCサイト

トップページ以外では、メインビジュアルの下にパンくずリストを表示します。

メニュー、アクセス、ギャラリーページは「固定ページ」として管理されています。

コンテンツのタイトルや本文は管理画面から登録されていますので、管理画面からいつでも変更することが可能です。管理画面から更新を行えば、PCサイトとスマートフォンサイトの双方で同時に情報が更新されます。



スマートフォンサイト

CHAPTER 6
STEP
06-03

投稿機能で記事の新規追加と
カテゴリーを設定する

WordPressではコンテンツを作成する形式が大きく分けて2つ存在することはすでに説明しました。ニュースやブログなどの時系列でたくさんの記事を書くときに使う「投稿」という形式と、会社概要やアクセスなどで使われる単独したページを作成する役割の「固定ページ」という形式です。投稿機能には、個別の投稿をグループ化する「タクソノミー(Taxonomies)」という仕組みがあります。「タクソノミー」とは分類を表す言葉で、WordPressでは階層のあるカテゴリー形式のタクソノミーと階層のないタグ形式のタクソノミーを設定することができます。

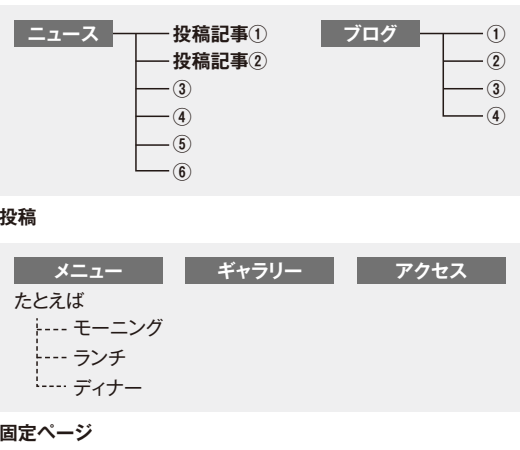
1 投稿の特徴

→

2 投稿機能で記事の新規追加とカテゴリーを設定

1 投稿の特徴

「投稿」とは、ニュースやブログなどの「時系列でたくさんの記事を書く場合」に利用するポストタイプです。投稿機能は時系列によって更新され整理される投稿形式です。カテゴリーごとに分類され、カテゴリーの一覧などでアーカイブされるようになっています。一方で、「固定ページ」は時系列に左右されない独立するページを作成するときに使う投稿形式です。ここでは、実際にサンプルサイトで採用されている「カテゴリー」の追加や設定を行っていきます。



2 投稿機能で記事の新規追加とカテゴリーを設定

ここでは管理画面を操作し、投稿のカテゴリーの設定や記事の追加を行っていきましょう。カテゴリーは親子関係を設定できるので、少数の大分類から階層的に小分類に分岐していくことができます。まずは、WordPressをインストールした際にデフォ

ルトで追加されている記事を削除し、新たに投稿を作成します。次に、訪問者や更新をする人がすぐに記事の分類を認識できるように設定し、カテゴリーの追加・設定を行っていきましょう。

1. 投稿記事を削除します。

管理画面のサイドバーにある「投稿」を選択します。投稿の一覧画面に「Hello world!」という記事がWordPressのインストール時に作成されています。見本の投稿なので削除しましょう。



削除したい投稿にカーソルを合わせるといくつかの選択項目が現れます。左から3番目の「ゴミ箱」をクリックします。



画面上部に「1件の投稿をゴミ箱へ移動しました。」と表示されます。しかしこの状態では、訪問者からは記事が見えなくなりましたが、完全に削除されたわけではありません。



データベース上からも削除したい場合は、「1件の投稿をゴミ箱へ移動しました。」の表示のすぐ下に「すべて(0) | ゴミ箱(1)」という項目が現れるので、「ゴミ箱(1)」を選択します。投稿のゴミ箱一覧画面に移動したら、さきほどと同じように投稿にカーソルを合わせ、「完全に削除する」をクリックします。



CHAPTER 6
STEP
06-04

「固定ページ」機能で
各ページを作成する

固定ページを使って「トップページ」「メニュー」「ギャラリー」「アクセス」それぞれのページを作成していきます。
サンプルデータにある post_data ディレクトリ内のテキストデータを挿入し、コンテンツを作成していきましょう。



1 固定ページの特徴

固定ページの編集画面は投稿の編集画面と似ていますが、カテゴリーやタグのような分類の設定はありません。
その代わりに、固定ページ同士を親子関係に設定する機能や、今回は利用しませんがテーマに含まれている固定ページのテンプレートを適用し、デザインを固定ページごとに切り替えることもできます。

2 トップページの作成

1. 固定ページを新規追加します。

管理画面の「固定ページ」→「新規追加」を選択します。



ここを選択

2. タイトルとパーマリンクを入力します。

「タイトル」に「トップページ」と入力します。次に、タイトルのすぐ下にある「パーマリンク」の右端の「編集」をクリックし「home」と入力しましょう。

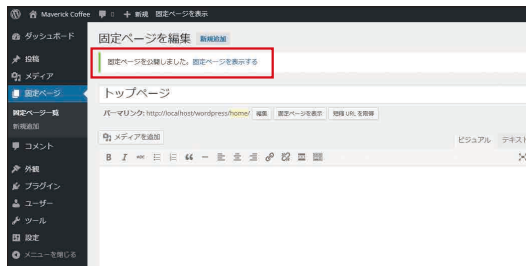


入力

「編集」をクリックし、
「home」と入力

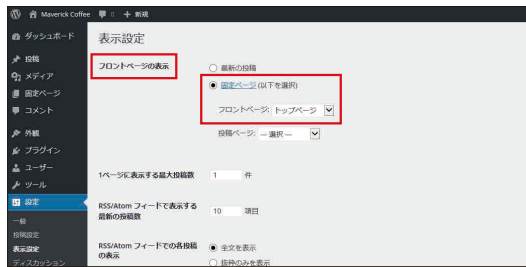
3. 公開

画面右端にある「公開」ボタンを選択します。「固定ページを公開しました。」と表示されます。



4. 表示設定の変更

「フロントページの表示」から「固定ページ」を選択し、「フロントページ」のプルダウンからさきほど作成した「トップページ」を選択します。この設定で、作成した front-page.php の内容がトップページに表示されます。



3 メニューページの作成

1. 固定ページを新規追加します。

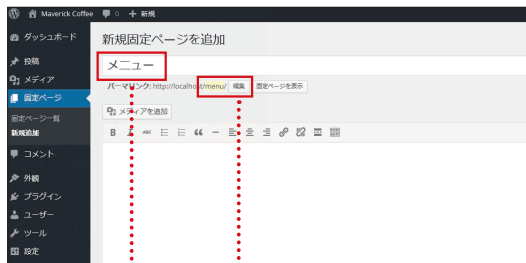
管理画面の「固定ページ」→「新規追加」を選択します。



ここを選択

2. タイトルとパーマリンクを入力します。

「タイトル」に「メニュー」と入力します。次にタイトルのすぐ下にある「パーマリンク」の右端の「編集」をクリックし、「menu」と入力しましょう。



入力

「編集」をクリックし、「menu」と入力

CHAPTER 8 STEP 08-02

テスト環境から本番環境に データを移行する

本番環境へデータベースを移行します。

phpMyAdminを使用して、データベースのエクスポートおよびインポートを行います。

1 データベースの
エクスポート



2 データベースの
インポート



3 テスト環境から
本番環境への
URLの置換

1 データベースのエクスポート

本番環境へデータベースを移動させます。作業は右
の手順で行います。

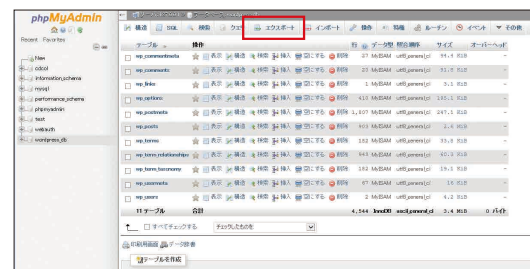
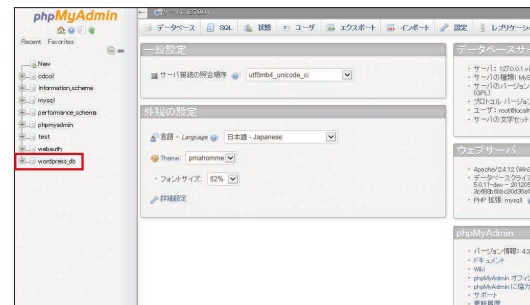
- ①テスト環境のデータベースをエクスポート
(データの取り出し)
- ②本番環境にインポート(データの読み込み)
- ③URLの書き換え

1. phpMyAdminから エクスポートしたいデータベースを開きます。

エクスポートには、「STEP 04-04 WordPressの
本体の準備とインストール」で使用したphpMyAdmin
を使用します。

phpMyAdminの左カラムにある「データベース」
から、エクスポートするデータベースを選択します。
「STEP 04-04 WordPressの本体の準備とインス
トール」の例ならば「wordpress_db」というデー
タベースです。

2. 「エクスポート」タブを選択します。



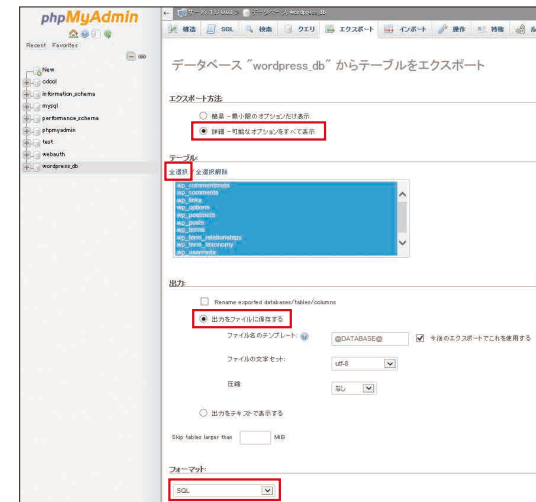
3. エクスポートするテーブルを選択します。

エクスポート方法は「詳細 - 可能なオプションをす
べて表示」をチェックし、テーブルをすべて選択状態に
します。

出力は「出力をファイルに保存する」をチェックし、
ダウンロード可能な状態にします。

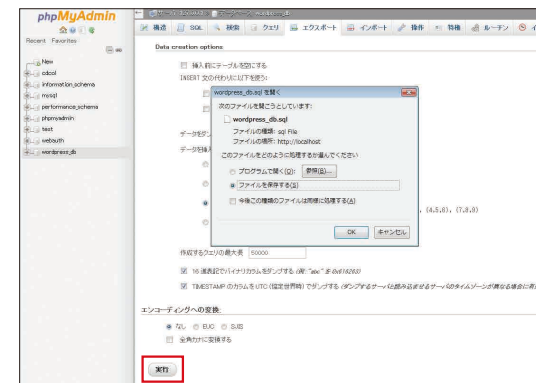
フォーマットは、プルダウンリストから「SQL」を選
びてください。

その他の設定はデフォルトのままにしておきます。



4. 「実行」ボタンをクリックします。

画面をスクロールし、ページ下部の「実行」ボタ
ンをクリックすると、ファイルがダウンロードされま
す。上
記の設定でエクスポートした場合は「wordpress_
db.sql」というファイル名で出力されるはずですが、ダ
ウンロードしたデータは、ローカルのコンピュータの任
意の場所に保存してください。



2 データベースのインポート

1. 本番環境のphpMyAdminを開き、 データベースを選択します。

インポートには、本番環境のphpMyAdminを使用
します。本番環境で使用するWordPressのデー
タベースを選択し、「インポート」タブを選択します。

